

令和元年度「進学指導重点校事業」実施計画書

1 研究主題

高い意識をもち、難関大学を目指す生徒の進路実現をサポートするための研究。

2 研究主題設定の理由

過去3年間の本校普通科の国公立大学及び岐阜大学の合格者数の推移は下記のとおりで、中・下位層に対する指導については一定の成果を上げていると考える。

国公立大：135 → 123 → 132 岐阜大：40 → 31 → 40

一方、岐阜大学とともに志望者が多い名古屋大学、名古屋工業大学、名古屋市立大学の合格者数の推移は下記のとおりで、上位層に対する指導のスキルアップの必要性を強く感じる。

名古屋大：13 → 15 → 6 名古屋工大：15 → 6 → 6 名古屋市大：5 → 1 → 6

本事業を通してより多くの生徒が進路目標を達成できるよう、生徒の「セルフイメージ」を高め、自らすすんで学習に取り組む姿勢を育成することで「学力の定着・向上」を図るとともに、教員の指導力向上を目指して研究主題を設定した。

3 研究計画

(1) 外部専門業者による学習支援①

- ・対象：1～3年生（希望者）及び教員
- ・時期：9月、10月又は3月
- ・ねらい：外部模擬試験（全統模試・名大OP）を受験した生徒（希望者）に対して、外部専門業者による解説及び学習方法についての助言をしてもらう。
※1教科90分×8コマ（1,3年生:2教科×2学年=4コマ,2年生:2教科×2回=4コマ）
∴実施する時期と教科は、各学年会の希望で決定する。

(2) 外部専門業者による学習支援②

- ・対象：3年生（希望者）及び教員
- ・時期：6月前期中間考査後～9月前期期末考査前
- ・ねらい：映像講座を視聴し、受験に必要な基礎力の完成を目指す。
※12単位(50分×12コマ)×3講座(英数国)
∴どのDVDを購入するかは各教科で決定する。

(3) 外部専門業者による教員研修②

- ・時期：夏休み又は冬休み
- ・外部業者主催の大学入試問題研究等の講座を受講し、教員の力量向上を図る。
※駿台又は河合塾主催の教育セミナーに計5名参加（各教科1名）
∴各教科会で受講者を決定

(4) 名古屋大学見学会

- ・対象：2年生（希望者）
- ・時期：11月中旬
- ・オープン授業受講（2コマ）
- ・ねらい：大学での専門的な授業を体験することにより、生徒の学習・進学意欲を喚起する。

(5) キャリア甲子園2019

- ・対象：1～2年生（希望者）
- ・時期：7月～12月（月曜日放課後各2回程度、夏休み5回程度、計15回）
- ・ねらい：課題探求型授業やPBL(プロジェクト・ベースト・ラーニング)として活用し、主体的に学習する態度の育成を図る。